

2 安全で安心なまちづくり

より災害に強いまちづくり

- 1 防災拠点の整備及び住宅等の安全性の強化
- 2 耐震改修促進事業の推進
- 3 住宅リフォーム助成事業の推進
- 4 災害に強い道路網の整備
- 5 治水の推進
- 6 災害に強い上水道の整備
- 7 災害に強い公共下水道の整備

防災体制の強化

- 1 防災体制の整備
- 2 「共助」における防災体制の強化充実
- 3 地域間の連携強化
- 4 避難所の機能充実
- 5 生活物資の備蓄
- 6 救援物資の備蓄

自治体間等の連携の充実

- 1 自治体間の連携強化
- 2 企業との連携強化
- 3 企業の防災機能の整備充実

防災教育と人材の育成

- 1 防災意識の向上
- 2 防災教育の推進
- 3 自主防災組織の育成
- 4 ボランティアの育成

情報伝達機能の確立

- 1 防災行政無線等の整備
- 2 非常用通信機器の配備強化
- 3 情報伝達機能の強化

災害拠点病院機能の充実

- 1 新市民病院の建設
- 2 新市民病院へのアクセス道路の整備

保健・医療・福祉の充実

- 1 救急医療体制の充実
- 2 災害拠点病院等への誘導体制の構築
- 3 移手段の確保
- 4 福祉避難所の拡充
- 5 安否確認体制の整備
- 6 保育環境の充実
- 7 子どもの安全確保
- 8 被災者の心身のケア
- 9 被災者に対する食生活改善の支援

教育環境の充実

- 1 教育施設の耐震・大規模改修
- 2 「音楽が聞こえる都市（まち）づくり」の推進

活力ある地域コミュニティの再構築

- 1 地区集会所の早期復旧
- 2 避難所（地区集会所）の整備
- 3 地域自治組織の自治力の向上
- 4 市民による地域計画づくり（コミュニティ・防災）

1 生き生きとした暮らしの再建

被災者の生活再建支援

- 1 市民生活再建支援
- 2 被災住宅支援
- 3 市営住宅の整備
- 4 子どもの養育・就園・就学支援
- 5 緊急雇用による支援

被災者への心身のケア

- 1 被災者の心身のケア
- 2 子どもの心のケア
- 3 被災者に対する食生活改善の支援

災害廃棄物の処理

- 1 災害廃棄物の処理
- 2 ストックヤードの確保

原発事故への対応

- 1 放射線測定環境の整備
- 2 放射能に対する正しい知識の普及と情報開示
- 3 農畜産物等における放射性物質への対応
- 4 上水道等における放射性物質への対応
- 5 下水汚泥における放射性物質への対応
- 6 放射性物質の健康被害への対応
- 7 給食における放射性物質への対応
- 8 放射性物質による汚染の除去

社会基盤・都市機能の復旧

- 1 道路の復旧
- 2 河川の復旧
- 3 水道施設の復旧
- 4 下水道の復旧

被災した公共施設の復旧

- 1 教育施設の復旧
- 2 児童福祉施設の復旧
- 3 公共施設の復旧



米の放射性物質検査



1 2 被災した古川第一小学校には仮設校舎が建てられ、歴史ある木造校舎はその幕を閉じました
3 4 マンホールが隆起した市道を応急工事で復旧（三本木地域）



2



3

4

被災した公共施設の復旧では、建て替えが必要となった古川第一小学校と古川東中学校は、平成二十五年度中の復旧を目指します。

また、東京電力福島第一原子力発電所事故に端を発する原発事故への対応では、空間放射線量の測定や、給食食材の放射性物質検査、放射能に対する正しい知識の普及と情報開示などにより、市民の不安の解消に取り組みます。

安全で安心なまちづくり

より災害に強いまちづくり、防災体制の強化、自治体間等の連携の充実、防災教育と人材の育成、情報伝達機能の確立、災害拠点病院機能の充実、保健・医療・福祉の充実、教育環境の充実、活力ある地域コミュニティの再構築の九項目に取り組みます。

震災の教訓を生かし、避難所の充実、生活物資・救援物資の備蓄を拡充します。また、災害に強い情報網を確立

させるため、防災行政無線を平成二十七年までに整備します。

さらに、今回の震災では、姉妹都市・友好都市をはじめ、多くの自治体や企業から人的・物的支援を受け、震災直後の混乱や物資不足、ライフラインの早期復旧の大きな力となりました。

このことから、自治体間の連携、企業との連携、地域コミュニティなど、震災で注目された絆を強めていくことで、安全で安心なまちづくりを進めていきます。

復興の理念

震災から八カ月が経過し、徐々に震災前の市民生活が戻りつつあります。

しかし、市内のいたるところで震災のつめ跡が残る、被害を受けた商店街の復興や道路、公共施設などの早期の復旧が求められています。

また、東京電力福島第一原子力発電所の事故は、市民生活に大きな影響を及ぼしています。

こうした中、策定した「大崎市震災復興計画」は、今回の震災をこれまでの生き方、暮らし方、経済活動のあり方を見直すきっかけとし、市民

生き生きとした暮らしの再建

被災者の生活支援、被災者の心身のケア、社会基盤・都市機能の復旧、被災した公共施設の復旧、災害廃棄物の処理、原発事故への対応の六項目に取り組みます。

被災者の生活再建支援では、生活再建支援資金など資

政策課震災復興推進室 ☎2129



震災復興大会で復興宣言をする吉塚琢己さん(古川高校2年)と菊地幸恵さん(古川高校2年)



活発な議論が交わされた震災復興市民会議

真の豊かさ 連携と協働による大崎の創生

大崎市震災復興計画を策定しました